

地球市民プロジェクト

～みらいを変えるきっかけを～



No.9 イオンの森

ボランティア★

9月25日(日)、秋晴れの中、イオンモール和歌山で開催された「イオンふるさとの森 いきもの調査」に生徒10名が参加してきました。

このプログラムは、イオンが植樹している森の中にどんな生物が存在しているのかを調査するイベントで、「バイオーム」というアプリを使い、見つけた植物や生き物を写真で撮りAIが分析・判断したものをみんなで保存していくイベントです。

「ショッピングセンター」と「森」というのは一見、かけ離れているようですが、イオンさんは環境に非常に配慮している企業で、植樹活動で地域の環境保全に貢献されています。

実際にどのくらいの植物や生き物が生息しているのか、生物多様性にどのように貢献しているかを調査しました。

今回の調査隊は本校の生徒と、和歌山大学の生徒、イオンモールのスタッフのみなさんで構成されています。

まずは、集合し、このプログラムの趣旨についてご説明いただきました。

その後、見つけた植物や生き物の写真を撮り、アプリ上で保存して行きました。



実際に調査してみると、全く知らない名前の植物がたくさんありました。また、チョウチョやアリなども何種類も見つけることができました。生徒の中には蜘蛛やトフボなどをうまく写真におさめた生徒もいて、和歌山大学の教授からも「これはなかなか見つけれないものだ」と言っていました。

1時間の調査でしたが、各々20種類くらいの生き物を見つけることができました。

調査の後はグループに分かれて振り返り活動を行いました。

「ショッピングセンターにこんなに生き物がいると思わなかったのでびっくりです」
「植物は簡単に写真に撮れましたが、生き物はなかなかカメラにおさめられなくて悔しいです」
など、いろんな意見が出ました。



イオンさんには昨年「地球市民プロジェクト」で関わっていただいております。6月にはイオンリテールの店長さんに講演にも来ていただいております。

私たちの身近にある企業がSDGsに積極的に取り組まれていると知ることによって、ますますSDGsが身近に感じられ、生徒の行動が変わるきっかけとなっています。

今後もこういった活動に積極的に参加していきたいです！イオンさんありがとうございました！

